

サンプル／これだけ項目集 造園施工管理 2級実地試験

問題3 安全管理

◇ 安全管理 全般

2造園 実地 H29-3-1 H27-3-1 H22-3-3

事故発生と作業現場の準備

- ・現場緊急連絡体制表を掲示して、連絡体制を整備する。
- ・事故が発生した時の連絡と行動のフローを掲示して、緊急報告手順を整備する。
- ・救護・手当等の方法をマニュアル化し、作業員に対する訓練を実施する。
- ・救急用具、AED、救急医療薬品などを常備する。

2造園 実地 H26-3-1 H24-3-1 H21-3-1

ツールボックスミーティング

- ・当日の作業内容、段取り・手順、留意事項
- ・作業の安全上の問題点、危険な行為、危険場所の確認
- ・重機使用時の作業内容、作業範囲の確認
- ・クレーン作業時の安全上の留意点、高所作業時の安全上の留意点
- ・同じ場所で輻輳作業が行われる場合の注意事項
- ・新規に加入する作業班、工種の内容と留意事項
- ・作業員の健康状態、保護具の確認と点検

2造園 実地 H28-3-1 H26-3-2 H23-3-2 H21-3-2-1

資材の搬入出と公園利用者の安全

- ・資材運搬の搬入搬出口には誘導員を配置し、車両の運行は誘導員の合図により行う。
- ・作業車両の公園内の走行速度を制限し、徐行運転を徹底する。
- ・工事の作業区域を明確にし、周囲にロープやバリケードを設置し、作業関係者以外の立入りを禁止する。
- ・工事看板や注意標識を設置して、公園利用者の注意を喚起する。
- ・公園利用者の動線と重ならないように、工事作業の範囲を設定する。
- ・公園利用者が利用する時間帯を避けて、資材の搬入出時間を設定する。
- ・仮設道路については、幅員1.5mを確保して、安全フェンスを設置するとともに、交通誘導員を配置する。
- ・剪定した枝葉を落下させる場合は、監視人を配置し、投下設備を設置する。
- ・剪定作業においては、安全带等の墜落防止器具を使用させる。

◇ はしご、脚立

2造園 実地 H29-3-2-1 H28-3-2-1 H26-3-3 H24-3-2 H22-3-2-1
はしご

- ・丈夫な**構造**とすること。
- ・材料は、著しい損傷、腐食等がないものとする。
- ・幅は、**30cm以上**とすること。
- ・脚と水平面との角度を**75度以下**とすること。
- ・すべり止め装置の取付けその他転位を防止するために必要な措置を講ずること。
- ・はしご上端部の突出が60cm以上あること。
- ・はしごが転倒したり、移動しないように上部をしばって固定すること。
- ・はしご設置位置は、水平で、めり込み・浮き上がりのない床面に置くこと。
- ・保護帽、安全帯を使用すること。

◇ 高所剪定作業

2造園 実地 H-28-3-2-2 H27-3-2-3 H25-3-2-2 H23-3-3 H22-3-2-2
H21-3-3 H20-3-2

高所剪定作業

- ・樹上作業を行う場合には、樹木の**腐朽や弱枝**を確認し、体重をかける部分に注意すること。
 - ・高さが2 m以上の箇所で行う場合は、**防網**を設け、作業員に安全帯を使用させること。
 - ・**3m以上**の高所から剪定枝等を投下する場合は、適当な投下設備を設け、立入り禁止区域を設定して監視人を置くこと。
 - ・作業に当たっては、**上下作業**は極力避け、やむを得ず行うときは、合図者等を配置するなどの対策を講じて安全確保を図ること。
 - ・切断した枝を投下する場合は、大枝の投下に巻き込まれないように、合図して離れること。
 - ・投下する枝は小枝とし、大枝はロープ等を使用して、吊り下げながら下ろすこと。
-
- ・枝の投下予定の周辺には、防護柵、バリケード等を設け、立ち入りを禁止する。
 - ・枝葉切り落とし時には声をかけ合い、下方の安全を確認する。
 - ・地上に監視人を置き、その指示に従う。
 - ・飛来の危険性があるため、大風などが予想される場合は作業を中止する。